

2026 年 10 月 5 日

各 位

会 社 名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 荒川 隆治
(コード番号2784 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 羽野 和明
(TEL: 03-5219-5102)

ティーエスアルフレッサ株式会社が鳥取県米子市と 災害時における医薬品、衛生用品等の供給に関する協定を締結

当社の子会社であるティーエスアルフレッサ株式会社(本社:広島県広島市、代表取締役社長:高橋卓詩、以下「ティーエスアルフレッサ」)は、2026年10月2日、鳥取県米子市(市長:伊木隆司、以下「米子市」)との間で、「災害時における医薬品、衛生用品等の供給に関する協定」を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本協定は、米子市による被災者支援に必要な医薬品、衛生用品等の確保に寄与することを目的としています。

記

1. 背景と目的

アルフレッサグループは「すべての人に、いきいきとした生活を創造しお届けします」をグループ理念に掲げ、社会インフラとして医薬品等の安心・安全・誠実な供給に努めています。

広島県に本社を置くティーエスアルフレッサは、中国地方を営業基盤として生命関連商品である医薬品等の流通を通じ、地域に密着した事業を展開しています。また、中国地方の自治体との災害時の医薬品や衛生用品等の供給に関する協定の締結や、自治体等が実施する災害訓練への協力など、防災・減災に向けた取り組みを進めています。

鳥取県西部の中核都市である米子市は、「米子市地域防災計画」を策定し、総合的かつ計画的な災害対策の整備と推進を図っています。また、将来像として「住んで楽しいまち よなご」を掲げ、その実現に向けた施策の一つとして、「災害に強いまちづくり」に取り組んでいます。

このような背景のもと、ティーエスアルフレッサと米子市は、災害時における医薬品、衛生用品等の供給体制の強化に向けて、本協定を締結いたしました。ティーエスアルフレッサは、本協定を通じて、米子市における災害時の医薬品、衛生用品等の確保および被災者支援体制の強化に貢献してまいります。

2. 協定の概要

(1)締 結 日:2026 年 10 月 2 日

(2)協定締結者:米子市、ティーエスアルフレッサ

(3)協 定 期 間:2026 年 10 月 2 日から 2027 年 3 月 31 日まで※

※ 期間満了の1カ月前までに、いずれの当事者からも終了の申し出がない場合は、有効期間が1年単位で更新され、その後も同様とします。

(4)協力の内容:災害時において、米子市からの要請に基づき、供給可能な範囲で次の物資を供給します。

①医薬品および衛生用品の供給

②その他、米子市が指定する物資の供給

■ティーエスアルフレッサについて

ティーエスアルフレッサは、広島県広島市に本社を置き、中国地方の全 5 県において医療用医薬品、医療機器、検査試薬等の卸売事業を展開しております。各種商品の供給に加え、医療現場で必要とされる情報やニーズに応えることにより、地域医療のトータルサポートに寄与し、中国地方の皆様の健やかな生活を支援しています。

<https://www.ts-alfresa.net/>

■米子市について

米子市は、鳥取県の西部、山陰のほぼ中央に位置し、豊かな自然環境に恵まれています。道路、鉄道、空港などの利便性も高く、古くから地域の交通結節点・宿泊拠点、人の行き来が盛んな「山陰の商都」として栄えてきました。特色として、鳥取大学医学部附属病院をはじめとする医療機関が充実していることが挙げられ、高齢者にも子育て世帯にもやさしい環境です。将来像として「住んで楽しいまち よなご」を掲げ、地域の活力の維持・向上を図るとともに、防災対策を含めた様々な施策を推進しています。

<https://www.city.yonago.lg.jp/>

＜10 月 2 日に行われた米子市との協定締結式＞

「災害時における医薬品、衛生用品等の供給に関する協定」締結式



【写真右】米子市長 伊木 隆司 様

【写真左】ティーエスアルフレッサ 代表取締役社長 高橋 卓詩

以上